

2019 年度 厳冬期の知床五湖エコツアー事業実施報告

1. 事業名

「厳冬期の知床五湖エコツアー」事業

2. 事業目的

厳冬期における知床の自然の魅力や価値を多くの人に伝えることや冬期におけるエコツアープログラム及び自然ガイド事業の充実を図り冬期の知床への来訪動機を高め、地域活性化を図る。

3. 事業実施主体

主催：「知床五湖冬期適正利用協議会」（（公財）知床財団他 6 団体）

事務局：釧路自然環境事務所・斜里町・知床ガイド協議会・知床斜里町観光協会

オブザーバー：オホーツク総合振興局 建設管理部・産業振興部 商工労働観光

課・保健環境部 環境生活課・知床森林生態系保全センター・網走南部森林管理署

4. 事業内容変更点

①大枠、昨年と同様の内容で実施した。

②道道知床公園線道道知床公園線（岩尾別橋ゲートから知床五湖ゲートまで）の除雪については、引き続き知床五湖適正利用協議会による「自主除雪」で実施した。

5. 事業実施結果

- ・実施期間：令和 2 年 1 月 23 日(木)～3 月 22 日(日) 60 日間
- ・実施日数： 48.5 日
- ・中止日数： 11.5 日
- ・利用人数：1,917 人（前年比 68.9%）（1 日当平均利用人数 39.5 人）
- ・ツアー事業者の実施回数：376 回（1 回平均 5.1 人）
- ・外国人利用人数： 982 人（全体に占める割合 51.2%）

6. 利用状況

【性別】

男性：932（48.6%）、女性：985（51.4%）

【年齢】

～20：58（3.0%）、20代：597（31.2%）、30代 524（27.3%）

40代：318（16.6%）、50代：269（14.0%）、60代：127（6.6%）

70代以上：24（1.3%）

【受付方法】

直接：1,734 (90.5%)、ネット：156 (8.1%)、ホテル：24 (1.3%)
案内所：3 (0.2%)

【外国人国籍】

中国：652 (66.4%)、台湾：97 (9.9%)、香港：91 (9.3%)、韓国：(2.2%)、
シンガポール 42 (4.3%)、マレーシア 5 (0.5%)、オーストラリア 20 (2.0%)、
不明その他：53 (5.4%) 合計 982

7. 収支決算状況（協力金による管理運営）

収入 2,860,500 円（協力金 1,500 円×1,907 人=2,860,500 円）
支出 2,849,661 円
差引 10,839 円（次年度へ繰越）

8. 実施状況

北海道が行ってきた道道知床公園線の「試験除雪」は平成 28 度で終了したことから、平成 29 年度からは知床五湖冬期適正利用協議会による「自主除雪」で実施している。

特に問題等の発生は無かった。

利用状況としては積雪不足に加え 3 月に入ってから暖気のためコース状況が悪化し、ツアー最終が 3 月 22 日の予定であったが、3 月 13 日以降のツアーは全て中止とした。さらに新型コロナウイルスの影響もあり最終利用人数が 1,917 人となり、目標の 2,300 人を大きく下回る結果で対前年比では 68.9% (▲ 867 人)の結果となった。

9. 令和 2 年度以降の事業計画

令和 2 年度以降の事業計画については、新型コロナウイルスの状況をふまえて今後開催予定の知床五湖冬期適正利用協議会で決定することとなるが、令和 2 年度の実施内容については、条件付き承認の条件を基本に、前年同様の事業内容で進めてまいりたい。

なお、知床五湖地上遊歩道の整備が昨年引き続き行われるが、ツアーの日程は従来どおり 1 月 22 日から 60 日間の開催とし、ツアーの基本である静寂性の確保に配慮した中で、関係機関と調整を図りながら事業を進めることとしたい。